

第7次高浜市総合計画審議会（第9回） 会議録			
日 時	令和4年12月12日（月）午後7時～8時00分		
場 所	高浜市役所 会議棟	傍聴人数	0名
出席者	委 員	中川幾郎、水野輝久、前川勉、宮田克弥、杉浦秀敏、神谷章一、 畠孝二郎、中川健二、酒井幸代、坂本直敏、新美純子、横山英樹、 深谷直弘 ※新美委員はZOOMによるオンライン参加（13名出席）	
	行 政	市長 吉岡初浩 教育長 岡本竜生 総務部長 杉浦崇臣 市民部長 岡島正明 福祉部長 磯村和志 こども未来部長 磯村順司 都市政策部長 杉浦義人 議会事務局長 竹内正夫 土木グループ リーダー 清水洋己 都市計画グループ リーダー 島口靖 上下水道グループ リーダー 石川良彦 防災防犯グループ リーダー 杉浦睦彦 学校経営グループ 主 幹 小嶋俊明 （13名出席）	
	事務局	企画部長 木村忠好 総合政策グループ リーダー 榊原雅彦 同 主 査 祖父江佑介 同 主 任 柘植一馬 同 主 事 村松邑馬 同 主 事 杉浦功暉 （6名出席）	
次 第	1 開会 2 議事 1) パブリックコメントに対する意見と対応【審議】 2) みんなで目指すまちづくり指標について【審議】 3) 計画書（案）について【審議】 3 その他		
資 料	資料1：パブリックコメントに対する意見と対応 資料2：市民意識調査結果 資料3：みんなで目指すまちづくり指標の目標値設定について 資料4：計画書（案） 資料5：第7次高浜市総合計画素案の修正・追加箇所について 追加資料：正誤表		

1. 開会
<p>(会長あいさつ)</p> <p>・本日はご多忙の中、お集まりくださいまして、ありがとうございます。ただ今より第9回高浜市総合計画審議会を開会する。</p>

2. 議題	
1) パブリックコメントに対する意見と対応について【審議】	
会長	・それでは議題1「パブリックコメントに対する意見と対応」について、事務局からご説明をお願いしたい。
事務局	(資料1「パブリックコメントに対する意見と対応」に基づき口頭にて説明)
会長	・パブリックコメントを受けての回答について、資料のとおりでよいか。 ・何かご異論・ご指摘の箇所があれば、ご発言いただきたい。
委員	・どういった形で公表されていくか。回答案と対応が併記されるのか、対応欄のみの公表となるのか。
事務局	・公表については回答案と対応を併記して公表することを予定している。
会長	・他に意見はあるか。
	(意見なし)
会長	・他に意見もないようなので、原案どおりで事務局で処理をお願いしたい。
2) みんなで目指すまちづくり指標について【審議】	
会長	・続きまして、議題2「みんなで目指すまちづくり指標」について事務局より説明をお願いしたい。
事務局	(資料2「市民意識調査結果」、資料3「みんなで目指すまちづくり指標の目標値設定について」、追加資料「正誤表」に基づき説明。)
会長	・今の説明について質問等あれば、ご発言いただきたい。
	(意見なし)
会長	・資料3の目標値についてご意見あれば承りたい。
	(意見なし)
会長	・後でご意見があれば伺いたいと思うので、次の議題にまいりたい。
3) 計画書(案)について【審議】	
会長	・議題3「計画書(案)」について、事務局より説明をお願いしたい。
事務局	(資料4「計画書(案)」、資料5「第7次高浜市総合計画素案の修正・追加箇所について」に基づき説明。)
会長	・追加資料についてはお手元の資料に反映されていないものなので、各自で修正をお願いしたい。 ・計画書(案)については、ようやく最終形となって配布されているが、これについてご意見あれば、発言を承りたい。
	(意見なし)

会長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、ここまでのところで、委員よりご助言、ご意見を承ってまとめていきたいと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・かなり私たちの意向も反映されて非常にいい計画案になっている思いがする。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・目標設定の説明があったが、本気度が伝わりにくいのでは。具体的に言うと、「高浜市が目指すまちの目標（キャッチフレーズ）を知っている人の割合」の目標値が100%、100%知っておいてほしいが、現実はいろいろある、どうやってやるのかの説明、できればお互いでやる旨の説明などが必要。「市公式ホームページへの年間アクセス件数」についても同様。意見としてとっていただいてもよいし、考えがあれば伺いたい。 ・地域計画を作るときに総合計画とどうやってリンクしていくのか、参加しながら悩んでいたが、基本計画の「みんなでできること」に入っていることは大変有難いと思うし、繋がった感覚がある。ここら辺をベースに総合計画ではこうやって取り上げているということ、逆に我々の立場で皆さんに言えるので、そういうことを励みにして私たちの地域計画も進めるようにしていきたいと思っている。 ・基本的なことだが、どうしても10年計画と言っても5年計画にしか見えないので、5年後どう考えてどんな見直しをすればいいのか、考え方の中にあるといい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・基本構想と目標が決まったが、心配するのは、目標値を達成するにはかなり具体的な内容が必要というか、各部局具体的な行動が必要と思う。その辺りの行動内容は各年度の部局の目標に入ってくるのか。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・今までのところで、質問にお答えいただけるか。
行政	<ul style="list-style-type: none"> ・指標については、計画書の指標の上に「こんなことに取り組みます」があり、その結果を測るものとなっている。「こんなことに取り組みます」は基本計画で5年間の計画であり、詳細については、毎年アクションプランを作成していく。別に定めるアクションプランはここでは提示していない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値が100%というのは現状値から見ても中々難しいのではないかと。「まちづくり協議会の活動に関わったことのある人の割合」が50%、二人に一人はかなり厳しい。「1年間で外国籍の方と何か一緒に活動したことがある人の割合」が25%で四人に一人、目標は高い方がよいがかなり高いなと感じた。 ・「みんなでできること」は、まちづくり協議会によって語尾がそれぞれ違う。そのまま地域計画を活かしていくというならそのままでもよいかと思う。 ・資料編7ページ、「策定にあたっての分析」の「2. 人口減少の進行、人生100年時代の到来」の二つ目は文章が長く読みにくいので、文を切ってもらいたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・今のご意見に対して回答をお願いしたい。

行政	<ul style="list-style-type: none"> ・指標の目標値は高く掲げている。低く設定し、そこまでしか目指さないのかと捉えられることのないように高めに設定している。 ・「みんなでできること」については各まちづくり協議会の地域計画をそのまま引用しているため、語尾がそれぞれ違ってきているので、できればこのとおりにしていきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今の説明で分かったが、資料4「計画書(案)」の「みんなでできること」が各まちづくり協議会の地域計画から引用しているから語尾が異なるところで、「【翼】」、「【南部】」、「【吉浜】」等の記載が必要なのか。全体でやるのではなくて、翼の協議会ではこれに力を入れるということなのかもしれないが、例えば目標12のところ、「認知症サポーターを増やしていこう、理解者を増やしていこう【吉浜】」とあるが、高取も実施している。ここに高取が入っていないのが寂しい。力を入れることをやめたのか、あえて地域を特定すると除け者感がでるので、本当に必要か検討してもらいたい。他の地域でもやっている人を見ると寂しいと思う。全体的にそのように記載されているが、自分の地域が書かれていないと自分の地域ではやっていないのかと思われると思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・今のご意見に対して回答をお願いしたい。
行政	<ul style="list-style-type: none"> ・二つ対応案があり、一つは地域名を併記する方法、もう一つは別の地域の文章を二段書きする方法。どのような方法がよいか内部で検討させていただく。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・今の委員の指摘で、地域バランスで不公平感がないようにすることは大事な観点だと思うので、細やかにチェックをかけてもらいたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・先の委員と同じで、気になったのは「みんなでできること」で地域名が入っていること。資料4「計画書(案)」40ページの「一人ひとりにできること」では、一人ひとりが町にたって声掛けをすると通報されてしまう恐れがあるという話がでたが、「みんなでできること」で児童登下校時に交通安全啓発と声掛けを行いますがあがっており、正に一人ではできないが地域の皆さんがカバーしている良い例だと思うが、これは高浜学区に限ったことではないと思うし、地区に制限する必要はないと感じた。 ・市民会議でも関わっているが、「一人ひとりにできること」「みんなでできること」で、一人ではできないことは地域でカバーするいい総合計画になっていると思う。作ってからが本番だと思う、推進していく中で市民の方と地域のまち協さんが一緒にテーブルに座って話す機会があるとよりいい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほどもあったが、二つの地域を併記してもよいと思うので、対応をお願いしたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・現状分析の資料が付き、それに基づいて問題が何かはよりはっきりしてきたかと思う。それに対してどう行動していくか。さらにまち協など関係する団体の方々がどう行動していくか、上手く仕分けされていて活動が非常によく

	<p>分かると思った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回、現状値と目標値が示されたわけだが、その目標値が特に高く設定されているのが一つ目の基本目標かと思う。勝負をかけていると意欲を感じる。特に「手を取り合ってみんなでまちをつくろう」のところで、いくつかは2倍或いはそれ以上の目標設定がされている。新しい取組については大きく向上することを期待するが、かなり力を入れなければ向上しないものもあるので、どんな目算があるのか、色々な方々と詰めていけばいいと思った。 ・資料4「計画書(案)」の40ページ学校教育に係ることということで、これについて「みんなでできること」の内容がどちらかというと、防犯防災に偏っているかなと感じる。それに対して次の生涯学習・文化・スポーツ43ページのところで、こういったことが学校教育の方にあってもいい。大分もっていかれてしまっていると感じがした。色々な団体の方がいらっしゃるので、そういったことを精査して内容を多面化していけばいいと思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・今、委員が仰ったことを勝手に解釈しているかもしれないが、学校のクラブ活動をもっと社会的なバックアップシステムでやってもらいたいということが課題となっている。それに関する記述があるとするならば学校教育の方にあるべきではということをご示唆されたのではないか。生涯学習の方だけでは学校と切断されているように見えるということでないか。これに対してコメントはあるか。 ・より社会教育と学校教育が連動性を深めていく社会の要請が表面化している。ご見解をいただけるか。
行政	<ul style="list-style-type: none"> ・資料4「計画書(案)」の一人ひとりにできることは、市民会議の学校教育の分科会で話し合われた中で、重要とされた上位5つを「一人ひとりにできること」として記載させていただいている。生涯学習も同様に生涯学習の市民会議分科会で話し合われたもの。学校教育と生涯学習の連動性が薄いのではないかという意見については、作成過程によるもので、修正は難しい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学校はカリキュラムに沿って学習を進めていくわけだが、必要があれば地域に働きかけて力を貸していただくのが原則かと思う。 ・あまり入り過ぎると学校の負担も大きくなっていくかと思う。先ほどの部活動や防災防犯のこと、更には出前授業でこういった方をお呼びしたりすることが出てくると思うが、そういったものに対応していく準備が地域にあると有難いと思う。
行政	<ul style="list-style-type: none"> ・当然まちづくり協議会の方も委員の言われた出前授業等で連携をしている部分はあるが、地域計画から「みんなでできること」を引用しているので学校授業との連動の部分が地域計画に書ききれてないということもあるため、まちづくり協議会とも調整しながら進めていきたい。ここに記載したものは変更がきかないわけではなく、その都度変更していきたいと思うので、ご意見として頂戴する。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会から出ている立場で話させていただく。 ・産業の部分で「商工会が実施する経営支援件数」の指標を変更していただき感謝する。コロナで件数が増えてしまっていた指標が、非常に分かりやすくなったと思う。 ・主観になるが、資料2「市民意識調査結果」でアンケートの報告をいただいたが、1ページ目の回収率41.6%が目に残った。過去の回収率からは上昇していることは、単純に喜ばしいことであり、市民の皆さんと行政の皆さんが一体となってやってきた結果がここに繋がっているのだと思った。ただ、50%の回収がない。回収できなかった58.4%の方々がどんな想いをもっているかということも意識していかないといけないのと、回収率を上げていく、上げるためにどうすればいいかを考えたときに、市民の皆さんがより意識を高くもっていただくことに繋がっていく、つまり総合計画に対して意識をもっていただくことに繋がっていくと感じている。単純に回収率を高くするためという一つの議論もどこかでしていただければいいのかと思った。 ・商工会だけでなく観光協会も含めての意見になるが、アンケートの中で「高浜市の歴史・伝統・文化に関する催しや祭りに参加したことがありますか。」という設問に60.6%の方が参加してくださっている。これが高いかというと、41.6%の回収率のうちの60.6%なので何とも言えないところではあるが、比較的高い数値になっている。やはり、高浜市に住んでいいな、良かったな、楽しいなと思える機会は行政含め各種団体が催すことが多いと思う。こういったことに対してしっかりと支援をしていただけたらと思う。というのも、観光協会の絡みになるが、今回鬼みちまつりが一区切りということで無くなってしまう。そしてOniハウスもなくなってしまいうことで、伝統や文化を推し進めていこうという中で諸事情により中止若しくは無くなってしまっている。観光協会、商工会、市役所、各種団体含めお祭りや伝統文化に触れるきっかけが無くなっていってしまうのは少し寂しい。そういったことに関わることで市民の方が高浜市に住んで良かったなと感じていただけることにもなるし、引いては産業、伝統文化、教育にも繋がっていく。総合計画全体に繋がっていくことではないかと感じた。特に総合計画に文言を入れてもらいたいということではないが、5年、10年と高浜市に住んで良かったと思う人の数を増やすことは一つの大きな目的だと思うので、行政含め各種団体、協議を深めていきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「一人ひとりにできること」、「みんなでできること」が入り、計画書として完成したと思われる。 ・内容的には「こんなことに取り組みます」等、前の部分はしっかり書かれているが、「一人ひとりにできること」と「みんなでできること」は大雑把で異質な感じがする。なぜなら、行政があえてこれを出した意図がいまいち分か

	<p>らないから。市の計画で市民にやってもらいたいことがあると言って、「一人ひとりができること」「みんなでできること」でいきなり、まち協の名前が出てきて、どうも整理されていない感じがする。その辺りは今後ブラッシュアップして綺麗になっていく気はしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料編で策定にあたっての分析が掲載された。資料編の9ページの分析2で現状分析・将来予測からの課題と市民のニーズからみた課題に分けて記載されており、上手くまとまっている感じがするが、これがどのように本計画に反映しているのかが分かるといい。分析3のAIシミュレーションでは、六つがグルーピングされそのうち三つが代表的に出されている、これがどう本計画に繋がっているのか。これを単に分析しただけで、本計画で拾わないのであればもったいない気がする。今までお話ししていたのは、そういった部分をどのような風にもってきたのかを散々聞いてきたはずなのに、ここにこれだけ詳しく分析が出てくると、もう少し違った形になってしまわないかという感じがするので、分析した結果が本計画にどのように反映されているのかをそれぞれの分析の最後にコメントいただけると分かりやすいと思う。
行政	<ul style="list-style-type: none"> ご意見の前段の「一人ひとりにできること」「みんなでできること」は今回初めて掲載させていただき、異質な感じがあるとご指摘を頂いた。意図としては「一人ひとりにできること」は自助的などころ、「みんなでできること」は共助的などころ、「こんなことに取り組みます」が公助ということで、それぞれ皆さんが自分事として捉え、まちづくりをしていこうということで掲載させていただいた。あくまで初めての試みであるので、後期計画であったり、8次計画でブラッシュアップしていきたいと考えます。
行政	<ul style="list-style-type: none"> ご意見の後段の部分で、分析が掲載されたことに関してご意見頂いた。これは最初に計画を作成していくときに施策動向調査としてご提示していたが、今回バックキャスティングということで、まず目指したい未来をしっかりと見据えようということで進めてきた。あまり現状の分析にこだわりすぎると現在の延長線上になってしまうということもあり、まずは目指すべき方向性を決め、そうした中で課題を考え、どのように取り組んでいくか、これらを考えていく際にこの分析を参考にしている。 委員の言われたように、この課題がどう計画につながっているのかは検討させていただき、入れることができるようであれば入れさせて頂くが、難しい場合は記載しないこととさせて頂きたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 今回目標値と設定根拠が示された。考え方が示されたことは、課題や今後の取組を考えていく上で非常によいことだと感じた。しかし中には7次の計画で10年間やっていくのに相応しいのか首を傾げるものもある。目標値と数値がかけ離れていくものもある。社会的な情勢を踏まえ、指標の評価を考え直してもよいのではないかという気がした。数値が向上して目標に近づくも

	<p>のはいいが、いつまでたっても目標に近づかないのであれば指標自体がよいのかという気がする。良くなっていくことを市民にも実感してもらいたいということからいって考え直してもよい気がした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用語解説の書き方が章ごとになっている。五十音順になっている方が使いやすいと感じるので考えていただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・先の委員に同じだが、資料4「計画書(案)」の28ページの「みんなでできること」に凄く違和感を抱いている。 ・これまで大事にしてきた、外国人と言わないことが、外国人と言われてしまっているところや、吉浜まち協で記載されていることがみんなでできることであって、これが本当にみんなでできることなのか疑問に感じるものがある。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・これについてコメントいただきたい。外国人住民と言うべきか、各まち協の地域計画を尊重しているのか。
行政	<ul style="list-style-type: none"> ・本編の書きぶりもあわせて、頂いたご意見を参考に検討させていただく。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・何名かの委員から目標値が高いのではとご意見があった。今回の総合計画は今までと違った切り口で、自分たちのまちのことは、自分も関わっていただいてみんなで一緒に解決することも必要で、行政だけでは解決できないということを、是非次期計画にはということで、このような作り込みをしていった。「みんなでできること」の書きぶりが本当にこれでいいのかというご意見もあったが、我々も総合計画を作って終わりではなく、作りましたということ これまでは総合政策グループが情報発信していたが、各部局が主体的に自分たちはこういった目標でやっていて、こういうことをしているということを常に事業やいろいろな場所を通じてメッセージを発信していかなければ、おそらくこの「一人ひとりにできること」や「みんなでできること」も実現していかない。ということは、目指すまちの姿になっていかないのではないかと思うので、委員の皆さまのからの意見を頂戴して思ったが、そこは行政に与えられたところではないかと感じた。的確に情報を伝えていくこともそうだが、一緒になってやっていこうというメッセージを常に発信していくことが大事だと思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・全体で再確認、再認識しておきたいが、総合計画は通称であり、旧地方自治法において、基本構想が唯一の法定事項。基本構想は議会の議決を経て定めなければならないという旧自治法第2条第4項が改正されて義務付けが取り払われた。その結果、高浜市は自治基本条例に基づく計画となったわけだが、基本構想は10年間、基本計画は前期5年、後期5年ということをまず認識してもらいたい。なので、基本構想と基本計画はタイムラグが違うということ。それから住民自治をしっかりと明記したということ。総合計画は役所でやる計画と思い込んでしまうことに大きな間違いがあるということ。地方自治はそもそも住民自治と団体自治つまり行政・議会とで二輪で成り立つ

	<p>ているわけで、何でもかんでも団体自治の責任ということでは地方自治は成り立たない。そういう意味で総合計画に住民自治の章をしっかりと書くということは現代の総合計画では必須不可欠になってきた。住民自治にも個人自治と地域自治それから企業によるもの、色々な層がある。それをこのまちでは、個人自治とまち協が代表している地域自治部分で代理してもらっている。あえて抜けているとすれば企業等の部分が抜けているかもしれないので、そういう意味で違和感を抱かれるかもしれない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私が優れていると感じたのは、各まち協で掲げているまちづくりの目標をそのまま総合計画に持ってきたということは凄くリアルになると思った。そういう意味で優れた手法だと思う。 ・目標数値が高すぎるという意見があったが、我々の知るところではない。むしろ低い数値をもってくるの方が危ない。簡単にできることばかり目標にされてしまうと困る。高く掲げられたことは有難いことだと思う。ただ、それがとても無理だと達成不能となった場合、目標数値の変更願いを出されればいい。そういう柔軟かさをもたれてもいいと思う。目標数値は部局の自己責任で提案されたわけなので、できるのかという意見もあったが、是非やってみてもらいたいし、ハードルを上げられたことに対して拍手を送りたい。 ・かつてA市の総合計画審議会の評価委員をしていたときは、この目標値は局長決裁で出した。5年間目標値の変更願いがない場合は、局長の勤務評定にするという時期があった。目標数値はそれぐらい重たいもの、部局長責任ということも理解してもらいたい。 ・高浜市のように個人自治と地域自治とを書かれている総合計画は日本でまだ数%しかない。一つの見本になっていることはお伝えてしておきたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、計画書（案）を意見を基により精度の高いものに完成させてください。

3. その他	
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・以上をもってすべての議事が終了した。事務局より連絡事項をお願いしたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見があればコメントシートに記入の上、12月26日までに提出いただきたい。 ・議事録は委員にご確認いただいた後、公表していく。 ・次回は最終回となり、1月10日に開催する。会議終了後、推進会議委員と合同で懇親会を予定させていただきたいと思うが、コロナの状況もあるので、ご意見を伺いたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・直近で状況が悪化するなどあれば、開催の可否は事務局に一任するというところでよいか。
	(意義なし)

会長	<ul style="list-style-type: none">・そのように進めていただきたい。・ご審議いただき感謝申し上げます。・以上をもって第9回総合計画審議会を終了いたします。
----	---